

社会保障と税



党女性委員副委員長・竹谷とし子

衆参で200時間以上の審議を経て成立した社会保障と税の一体改革関連8法案。社会保障と税について皆さまと語りあう中で、私が痛感したのは、税が医療や年金、介護、保育などの社会保障サービスという形

で私たち国民に還元されていても、その実感がなかなか持ちにくい制度になっているところだと思います。

国の一般歳出に

占める社会保障費は年約29兆円。特別会計と合わせる

と110兆円。そこから65歳以上の方は平均で240万円。特養に入所されれば約379万円、保育園に通う3歳未満児には96万円と

還元された実感持てる制度に

いうように、さまざまな形で還元されています。しかし年金やサービスは自らの

より支えられているかは認識されていません。それは一つ一つのサービスが、保険料からいくら、国、地方の税金からそれぞれいくらか支出されているのか、国民に示してこなかった国の責

盛り込みました。

今後も伸び続ける

医療や介護を皆で支

任です。北欧の高福祉・高負担の国は、払った税金がサービスとして還元されている”

えるには、国民の理解と協力が不可欠で、そのためには日本でも税が還元されているとの実感と信頼をもつ

という実感と、国への信頼により成り立っていると言われている。

ていただくことが必要です。その基礎となる「社会保障の見える化」に向け精力的に取り組む決意です。

女性議員の

国政レポート

